

音やにおい風の表情

「村上誠ドローイング白黒展」が喫茶ママ（盛岡市本町通一の8の10）で開かれている。美術家の村上誠さん（75）＝盛岡市下太田＝が木版リトグラフを中心にとした7点を展示している。15日まで。

木版リトグラフは、版となる板にリトクレヨンなどで描画して刷る版画の技法。板に描いた線などが作品に現れるため、展名は「ドローイング」としている。

抽象表現の作品の題はそれぞれ「葦吹く音」「土のにおい」「風におよげ」など。音やにおい、風は目に見えないと思いがちだが、村上さんは「頭の中ではこう見えている」と断言。

村上誠さんが個展

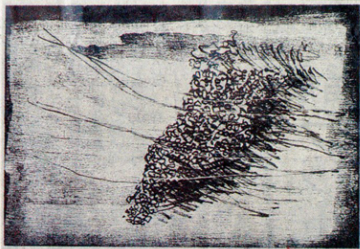
15日まで喫茶ママ

木版リトグラフなど展示

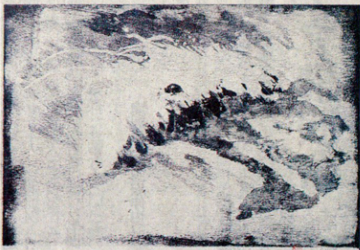
「お祭りなどでも、昔のイメージのない新しいものにもみんな『懐かしい』と言つ。あれは何なのか。みんな引きすつている」と村上さん。人が紡ぐ歴史をも超えて、そこにあり続けるものの存在を意識させられる。

紙に描くデッサンは立体感を表現できるが、版画にすると平らになる。「なんとか立体感をリトグラフで出したい」との思いも持つ。「可能性はある。だが、それは技術的に思つこと。要は絵で何を語りたいかという」と話している。

午前11時から午後9時まで。日曜定休。



「葦吹く音」



「土のにおい」